

地域建設業ワーキンググループでの 検討事項等

主なテーマ (例)	当面对応すべき課題 ※今回の政策会議の検討の対象外	10年後に 目指したい姿	10年後においても建設産業が「生産性」を高めながら「現場力」を維持していくために 検討すべき建設業関連制度の基本的枠組みに係る課題 (1~2年かけて順次制度化)					
			請負	許可制度	建設就業者関連制度	経営事項審査	入札契約	その他
建設業の 基本的な性格			<ul style="list-style-type: none"> ○請負の定義 ○民間の規律 ○元下間の契約(元請責任のあり方) ○発注者への関与のあり方 	<ul style="list-style-type: none"> ○一律の許可制度のあり方(公共/民間、大規模/小規模) 	<ul style="list-style-type: none"> ○技能労働者の法律上の位置付け 	<ul style="list-style-type: none"> ○経営事項審査の性格、あるべき姿(ランク分けや総合評価制度との役割分担) 	<ul style="list-style-type: none"> ○透明性・公正性に加え、持続性・処遇改善の要素を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○業の基本理念(誰のための、何のための建設業)
建設生産 システム	<ul style="list-style-type: none"> ○民間工事指針の普及 	<ul style="list-style-type: none"> ○発注者、設計者、施工者(元下)の一層の連携による円滑な施工の実現 ○多様な事業形態に応じた生産システムの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○請負以外の契約の位置付け(CM等) ○設計の密度と施工との関係 ○BIM、CIMの推進と責任関係 	<ul style="list-style-type: none"> ○建設関連業の位置付け ○工場製品の品質管理のあり方 			<ul style="list-style-type: none"> ○公共建築における入札制度の改善 ○建設関連業に係る入札制度の改善(ダンピング対策等) 	
生産性向上	<ul style="list-style-type: none"> ○i-Constructionの推進 ○「適正工期算定プログラム」の活用などによる適正工期の推進 ○建設キャリアアップシステムの構築 ○中小企業等経営強化法等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTの導入による省力化・省人化 ○生産性2割向上 ○クラウド等でリアルタイムに情報を共有することによるペーパーレス化と虚偽の防止 		<ul style="list-style-type: none"> ○許可申請書類の簡素化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTの活用など将来の施工の現場を踏まえた技術者制度 	<ul style="list-style-type: none"> ○生産性向上に取り組む企業の評価のあり方 ○経審の関係書類の簡素化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT化など、生産性向上を促す入札契約制度上の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○生産性を阻害する諸制度の見直し
働き方 (担い手確保を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○設計労務単価の改訂 ○社会保険の加入促進 ○担い手3法・運用指針の浸透 ○建設キャリアアップシステムの構築(再掲) ○週休2日モデル工事の実施等 	<ul style="list-style-type: none"> ○技能に応じた処遇の改善 ○製造業並の年収・週休2日の実現 ○建設業の魅力向上を通じた若年層の安定的な入職 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会保険の加入促進など処遇改善のための契約制度のあり方 	<ul style="list-style-type: none"> ○処遇改善のための許可要件のあり方 	<ul style="list-style-type: none"> ○技能労働者の処遇改善に向けた労働法制との連携 ○長時間労働の是正・週休2日に向けた取組 ○労働の平準化(多能工化等) ○一人親方への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○働き方の改革に取り組む企業の評価のあり方 	<ul style="list-style-type: none"> ○週休2日など、処遇改善に資する入札契約制度上の取組 	
地域の建設業	<ul style="list-style-type: none"> ○安定的な建設投資の確保 ○担い手3法(再掲) ○地域維持型契約方式等の普及拡大等 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害対応や増加する維持管理等を担う「地域の守り手」としての安定的な役割の維持 		<ul style="list-style-type: none"> ○地域の建設企業の制度的な位置付け ○事業承継の環境整備 		<ul style="list-style-type: none"> ○大企業と中小企業、専門企業と兼業企業を一律で評価する仕組みのあり方 ○地域貢献の評価 	<ul style="list-style-type: none"> ○安定して受注できる仕組みづくり(事業協同組合、JV、複数事業・複数年度) ○地域の包括的な維持管理の普及方策(CMの活用による支援等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○将来の地域の建設業の果たすべき役割 ○地方創生の担い手としての方向性
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎ぐい工事問題の再発防止策 ○海外展開等 		<ul style="list-style-type: none"> ○事業者責任と技術者責任 ○適正な施工に向けた事業者と技術者の役割 	<ul style="list-style-type: none"> ○経管要件のあり方 		<ul style="list-style-type: none"> ○民間工事における効果的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○請負契約以外の契約の位置付け(CM等)(再掲) ○PPP/PFIへの参入方策 	<ul style="list-style-type: none"> ○業界団体の役割

法制度・許可WG

企業評価WG

地域建設業WG

- 地域建設業に期待される役割
- 地域建設業を取り巻く現状・課題
- 地域の入札契約を取り巻く現状・課題
- 地域建設業の方向性について

第1回WGで
ご議論いただくこと

- 都道府県のインフラ管理の現状、問題意識と今後の方向性
- 地域の建設企業の問題意識等
- 地域建設業が今後目指すべき姿

地域の建設業は、主として、地域のインフラの整備・維持管理等を支えるとともに、災害時には最前線で安全・安心の確保を担う「地域の守り手」としての役割を果たしており、なくてはならない存在。

